

日時：平成 24 年 11 月 28 日

場所：宮城県庁副知事室

要望メンバー： 柏佑整・三浦一泰・及川文男・伊藤栄明・鈴木美範

回答者：三浦秀一 宮城県副知事

要望事項：

塩竈市北浜の護岸工事について要望に上がりました。

塩竈市中心部の護岸は、すべてコンクリートで覆われています、海に親しめる場所は、ありません。子供達も学校から子供だけで海岸へ行ってはいけないと先生に言われているようです。

北浜地区は、市民にとって親水空間を整備できる最後の場所です。

上から眺めるだけの親水海岸で無く、夏には安心して海に足を入れられるような海岸、そしてアマモ場を形成し海の環境保全に寄与する海岸にしていだけますよう要望いたします。

回答：

皆さんのお話は、塩竈市長や宮城県港湾関係者から聞いておりました。

まず、皆さんが心配されている直立護岸の位置は、陸側に入れ海側に親水空間を確保いたします。

それから、取りあえずは干潟の整備をいたします。皆さんの言われるアマモ場は潮通しの良い沖側が良いのでしょうか？

課題もあります。完成後は、誰が管理をするのか？宮城県なのか、塩竈市なのか、あるいは皆さんがされるのか、よく話し合わなければなりませんね。